

# 事業所の紹介

## 愛泉会の各エリア 各ごとの取り組みについて紹介いたします。

### 向陽園生活介護

上山・西部エリア

向陽園生活介護は入所されている方や、法人のGH利用者さん、在宅の利用者さんが通われている事業所で40名ほどの方たちが日々利用されています。入所施設の体育館やディールーム、敷地内の一軒家などで、利用者さん個々の障がい特性や興味・関心に合わせて活動場所を設け、活動提供を行っております。

年齢層の幅も広く、これまでの経験を活かす事や新しい体験や経験の幅を広げていくことを目標として、今年度は活動プログラムの内容を見直し、利用者さんにとってより充実した活動が提供でき



るように取り組みを行っている所です。これまでは各活動場所の利用者さん同士が交流することなく活動を行っていましたが、好みの活動をお聞きすることや日

々の活動から推察し、それぞれの場所から活動に合わせて数名ずつで小グループを作りあまり交流の無かった人と関わり、普段とは違う場所で過ごす事で新しい刺激や経験が味わえることを目指し、1つの作品作りを行うなど新しい活動の形を考え、先日はその第一号の作品(写真参照)が完成し、皆さんとても満足された様子でした。

利用者さんにとって日中活動の時間がやりがいや自信に繋がるようにこれからも工夫をかさねていきたいと思ひます。 [向陽園 副園長 阿部 憲昭]



### グループホーム支援センター「あすなる」

北部エリア

グループホーム支援センター「あすなる」は山形市長町にグループホームつばさと隣接し、6部屋のうち5名の入居利用者さんとショートステイ(定員1名)の方が利用されています。

あすなるでは、利用者さんの障がい特性に合わせた個別対応を行っており、利用者さん1人ひとりが安心して暮らせる場、と感じていただけるよう支援に入らせていただいております。そして、チームアプローチを大切に、みなさんの想いを多く汲み取れるように、チームで情報共有しながら、日々の支援を行っています。

ホーム内では、利用者さんが好まれる場所や空間で過ごされています。居室でTVなどを見てゆったりされている方、食事の調理を楽しみにみている方、配膳や洗濯物などを手伝ってくださる方など、自分の役割として行ってくださっている方もいらっしゃいます。毎日の食事では、利用者さんから世話人へ食べたい物の要望や、こちらから利用者への聞き取りなど、日々の生活内でも選択の場を多

くとれるよう関わっています。

現在はコロナ禍で制限された生活となっていますが、これまでは外出や旅行など一緒に計画を立て、楽しく行くことが出来、地域との交流の場も設け、地域のお祭りへの参加や、ホーム開催のお祭りなどを行い、地域の方と顔を合わせる機会をつくってきました。

利用者さんの想いに寄り添い、気づき、目標に向かって実行する。職員全体でチームとして、今後も利用者さんが表情豊かに暮らせるホームを提供していきます。

[グループホーム支援センター「あすなる」 サブリーダー 支援員 武田 歩]



### グループホーム支援センター心音

南部エリア

グループホーム支援センター心音は、現在4つのグループホームに35名の利用者が生活されています。4ホームのうち3ホームがアパート形式のグループホームとなっていて、一人暮らしに近い生活環境になっているのが特色です。また、8月からはサテライト型住居サービスを開始し、1名の方がグループホームから桜田のアパートに引っ越しをされて、新たな生活を送られています。サテライト型住居は、一人暮らしをしたいというニーズに応えながら、地域における多様な住まいの場を増やして

いくという観点から、グループホームと連携して支援していくサービスです。職員がアパートを訪問して食事の支援や体調を管理し、生活面・健康面をサポートすることで、ご希望に沿ったアパートでの生活を支援しています。

4つのグループホームでは、「ここで生活を続けたい」と思ってもらえるような生活環境作りに努め、「衣食住」+「遊休知美」の充実を目標にしています。生活の中に、遊びどころや、癒し、知る・学ぶ喜び、美しさという文化を取り入れ、潤いのある人生にしたいと思ひます。また、職員間でのコミュニケーションを大切に、楽しく支援できるような工夫を取り入れながら支援させていただいております。

[グループホーム支援センター心音所長 武田 幹]



### 地域活動支援センター天花

天童・中山エリア

地域活動支援センター天花(以下地活天花)は、地域に生活する利用者さんの「居場所」として活動しています。福祉サービスではない為「障がい者手帳」や「受給者証」がない方も利用できる事業所となっており、福祉制度以外の活動も多岐にわたります。

Aさんの活動を紹介します。手仕事が好きで手芸教室のある地活天花を利用しています。希望を確認した際に「映画を見たいけど、映画館なんて贅沢は出来ない」との事でした。本人と話し合いを重ねレンタルショップに行き見たい映画を探しレンタルカードを作り実際にレンタルしてみる等計画しました。その映画を地活天花で上映会として映画チケットを作ったりポップコーンを食べながら、実際の映画館に近い環境を準備しました。Aさんから「映画館で見ているみたいだったし、楽しかったです」と感想がありました。そんなAさんですが、今度はお店でパフェを食べたいと希望を出してくれて現在計画中です。

地活天花は利用者みなさんの応援団として、

「したい・やりたい」の実現を目指し、利用者さんと共に悩み・共に考え・共に実現が出来る!そんな居場所であり続けたいと思ひます。今後もそれぞれの居場所を大切にしていきます。

[地域活動支援センター天花 支援員 仲川 幸博]

